

令和6年度（2024-25）

北海道伊達開来高等学校



Welcome to Hokkaido Date Kaiki High School

Information for Prospective Students and Parents

School Guidebook



共に開こう 未来への扉！

Let's Open Doors To Your Future Together!

伊達開来高校にようこそ!!

令和3年(2021年)4月、北海道伊達開来高等学校(ほっかいどうだてかいきこうとうがっこう)が開校しました。伊達高等学校と伊達緑丘高等学校を再編し、普通科単位制の高等学校として新たなステージに踏み出しました。

生徒一人ひとりの多様な自己実現を全力で支援し、特色ある充実した教育内容を展開しながら、「地域と共に歩む道立高等学校」を目指していきます。

北海道伊達開来高等学校 学校長

藤 村 学

「開来」(かいき)の由来

「継往開来」(けいおうかいらい)、言葉の意味は、先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開くことを表しています。つまり、北海道開拓の一翼を担った伊達市の足跡や、地域の教育を牽引してきた伊達高校と伊達緑丘高校の歴史と伝統を受け継ぎ、世界を視野に未来を見つめ、人生を切り開く人材を育成したいという願いを込めています。

一人ひとりの夢の実現へ

高校への入学は、ゴールではありません。皆さんの夢を叶える大切な過程です。伊達開来高校での学びは、自分の本質を気付かせ、伸びしろを最大限に引き出します。本校は、生徒にとって「通いたい」、保護者にとって「通わせたい」オンリーワンの学校を目指し取り組んでいます。

みなさんの夢を本校で一緒に叶えましょう。



校訓 格致日新

校訓「格致日新」（かくちにつしん）とは、物事の道理や本質を、探究を通して深く学び、日々自己を向上させることを目指して、学校生活に励んでほしいという思いが込められています。本校の全ての教育活動の理念となる考えです。

学校教育目標

「情熱にあふれ たくましく しなやかに生きる人を育む」

3つのキーワード

情熱
たくましさ
しなやかさ

前向きな姿勢や態度、関心、意欲、原動力
自立、主体性、挑戦、創造、探究
共生、感性、多様性、協働性

校章



校章のデザインは、伊達開来高校の生徒たちが未来や世界に向かって羽ばたく「飛翔」を表現しており、中央の「D」（伊達開来）から、日々に新たに「成長」する姿勢を花びらのような翼で表現しています。未来への期待や輝きをイメージした黄色は「新たな夢の実現」を、北の湘南の爽やかな空や海をイメージした青色は「まだ見ぬ世界への挑戦」を、日本有数の藍の生産地である伊達をイメージした紺色は「地域の信頼」を表現しています。

スクールカラー

スクールカラーは紺藍（こんあい）です。伊達市は藍の生産が盛んであることから、スクールカラーには藍をベースとした「紺藍」にしました。「紺藍」は、濃い藍色であり、強く染めると伊達高校のスクールカラーである鉄紺に、浅く染めると緑色（伊達緑丘高校）になる色であり、両校の伝統を受け継ぎました。

School Policy 3つの方針

I 育成を目指す資質能力に関する方針

- 主体的に学び、意欲的に新たな学びに取り組む力
- 多様性を尊重し、互いのよさを認めて協働する力
- 地域社会に貢献し、持続可能な未来を創造する力

ジェネリック・スキル

育成を目指す資質や能力を育成するために必要な7つのジェネリック・スキル

- 傾聴力
要点を把握し、共感して他者の話を聞くことができる



- 自己肯定力
自己を理解して自信を持ち、他者を尊重することができる



- 分析力
課題を明確にし、本質がわかるよう整理することができる



- 表現力
考えをまとめ、他者にわかりやすく伝えることができる



- 思考力
課題の重点を認識し、解決方法を導き出すことができる



- 創造力
既成観念にとらわれず、新しい物事を考えることができる



- 調整力
異なる考えをまとめ、物事を判断し行動することができる



II 教育課程の編成及び実施に関する方針

単位制の趣旨を生かし、創意工夫に満ちた多様な社会に開かれた教育課程を編成・実施するとともに、生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、次の3点を柱とする特色ある教育活動を実施します。

探究的学習プログラム

グローバル・プログラム

キャリア・プログラム

III 入学者の受入れに関する方針

基本的な生活習慣や中学校段階における基礎的な学力が身につけており、次のいずれかに該当する生徒の入学を期待する。

- 1 大学進学等進路目標を明確に持ち、その実現に向けて意欲的に学習に取り組むことができる生徒
- 2 グローバルな視点を持ち、様々な世界との交流やその文化を主体的に学ぶことができる生徒
- 3 地域と連携・協働しながら伊達市及び西胆振の未来を創造することに貢献することができる生徒

教育課程

本校では、普通教科に関する科目を中心に、就職から専門学校（看護系含む）や大学・短大への進学まで対応した、100以上の多様な科目を開設しており、生徒は自分の興味・関心や進路希望等に応じて必要な科目を選択して学ぶことができます。

また、生徒の学習の実態や進路希望等に応じて、少人数授業や習熟度別授業など、きめ細かな学習指導を受けることができるのが、本校の教育課程の大きな特徴です。

令和7年度入学生教育課程表

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

											芸術選択					
1年次	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	コミュニケーション 英語Ⅰ	論理・表現 Ⅰ	情報Ⅰ	総合的な探究 の時間	LHR
											美術Ⅰ					
											書道Ⅰ					

			数学選択								2年次 選択科目			共通選択					
2年次	論理国語	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	論理・表現Ⅱ	家庭基礎	物理基礎	化学	数学B	古典探究	生物			総合的な探究の時間	スフィア		
			地学基礎						生物	実用国語	国語探究A	発展スポーツA							
									古典探究	ビジネスアプリケーションA	文化史発展	公民応用							
									国語教養	フードデザイン	日本史探究								
									応用英語	現代音楽	世界史探究								
			発展数学A									簿記	音楽Ⅱ	実用英語A					
			数学基礎A									生活と福祉	書道Ⅱ	保育基礎					
													ディベート・ディスカッションⅠ	美術Ⅱ	コンピュータグラフィックス				
													情報テクノロジー						

3年次	論理国語	コミュニケーション英語Ⅲ	論理・表現Ⅲ	体育	だて学	3年次 選択科目								共通選択		総合的な探究の時間	R・H・L
						数学Ⅲ	化学	国語探究B	生物	数学C	古典探究	倫理	政経				
						数学探究	生物	物理	古典教養	生物研究	物理研究	化学研究	地学				
						発展数学B	古典探究	生物研究	科学と人間生活	化学研究	発展スポーツB	作品研究	服飾手芸				

だて学（3年次必履修科目）

歴史ある伊達市の伝統と文化を学ぶ科目です。複数の分野に分かれ、地域を題材にそれぞれのテーマに基づいた探究的な学びを進めます。

※令和6年6月時点。変更する可能性もあります。

探究的学習プログラム

Inquiry-Based Learning Program

すべての教育活動において、探究的な学習活動を取り入れます。実際の学習活動では、講義中心の授業だけではなく、自ら考え、アイデアをグループで話し合い、発表等を通してクラス全体で共有するといった活動を行い、学びを深めていきます。

正解のない課題に対し、さまざま意見や考えを交えながら、自らが最適解を導きだしたり、興味のある内容に探究的なアプローチで学びを深めるなどして、本校が育成を目指す資質・能力を育みます。

進学探究クラス

一般受験で選抜制の高い国公立大学や私立大学への入学を目指すといった同じ目標を持つ生徒が集団になると、その集団の意識の高さが個人の意識をより高め、進学に向けて全員が互いに切磋琢磨する雰囲気生まれます。このような相乗効果を狙った、ワンランク上の大学進学を目指す「進学探究クラス」を設けます。

2年次以降は進路希望の動向などにより「進学探究クラス」と「自己探究クラス」の生徒の入れ替えなどを予定しています。



自己探究クラス

探究的、体験的な学習を通じて、公務員や一般企業などへの就職希望者、医療系・調理系・介護福祉系などといった専門学校、あるいは道内外の様々な大学・短大への進学希望者など、自分のやりたいこと、学びたいことを探究しながら、個々の多様なキャリアの実現を目指す「自己探究クラス」を設けます。



55分授業

1単位時間を55分とし、授業等における探究的な活動の充実を図ります。毎日の各教科・科目において話し合いやグループワークなどを行ったり、55分の授業時間すべてをプレゼンテーションに充てることもあります。また、少人数指導やティーム・ティーチングを行うなどして、個に応じたきめ細かな指導を行います。



グローバル・プログラム

Glocal Program

グローバル（グローバル + ローカル）・プログラムとは、地球規模の視野で考え、地域の視点で行動する学習活動です。国内外の実際のフィールドで体験的な学びやその振り返りをしながら学びを深めていきます。



Local

伊達市をまるごとフィールドワーク

伊達市をまるごと探究的な学習活動のフィールドの場として実践的なフィールドワークを行います。

伊達市はもちろんのこと企業等と連携して生徒が商品開発やクラウドファンディングなどをして起業したり、市の施策の提案等を市や議会と連携・協働して行うとともに、地元企業の方々や各分野の専門家からアドバイスをいただいて学びを深めていきます。

コンソーシアム

伊達市や地元企業、大学、専門学校、関係教育機関等とコンソーシアムを構築し、生徒が行う地域課題や進路実現等の解決に向けた学習活動をサポートします。

Global

海外見学旅行

2年次に生徒全員が海外（アジア圏）への見学旅行を予定しています。見学先では現地の高校生との交流や日本では体験することができない史跡巡りなど、グローバルな視点に立った、異文化交流を計画しています。

カナダ留学

海外留学や英語を深く学びたいなどの希望者の中から選抜して、カナダ（レイクカウチン）への研修を予定しています。研修先では、ホームステイなどをしながら地域の高校生との交流や大学等を訪問するなど体験的な学習ができるよう計画しています。



3年F組 矢野 美杏

カナダには移民の歴史があり色々な国籍を持つ人が多くいるため、様々な種類の英語の訛りを聞くことができます。そのため、違う英語圏の国でも通用するリスニング力を身に付けることができます。また、相槌や返事の仕方、ネイティブが使うような滑らかな英語を、実際に話しているのを聞く中で気づくことができるのも留学ならではの魅力でした。英語で生活していた中で分かったことは、文法は中学校までの内容が分かっていたらある程度話についていくことができますが、知らない単語が一つ出てくるだけで焦ってしまい、理解が追いつけなくなってしまうことがあったので最低でも単語帳一冊分くらいの知識は必要だと感じました。最後に、留学に行っても不安や心配なことも多くありましたが、その反面、うまく会話ができた時の達成感や新しく友達ができたとの感動は半端なかったです!! もし留学を迷っているのなら今しかできない経験だと思って一歩踏み出してみることをお勧めします!!

3年F組 斎藤 凛

まず、私が留学をして感じたことは文化の違いです。日本では、礼儀として上下関係がありますが、カナダでは年上年下関係なくみんな仲が良く、同じ授業を受けることもできます。英語力の向上はもちろん、現地ならではの会話表現や自分の言いたいことを伝えたり、自分から行動する積極性が身につきました。授業の参加は日本より厳しくなく、とても自由なので、自分で考えて行動することが大事です。先生も生徒もすごくフレンドリーなので話しかけてくれたり、わからないことは聞いたりしてコミュニケーションを取っています。最初は英語を聞き取ることが難しく、心が折れかけましたが、慣れてくると毎日楽しく、時間が経つのが早く感じます。また、留学生もたくさんいて、国境を超えた交流ができます。もし、留学するか迷っているなら、挑戦することをおすすめします。実際にネイティブと会話してみると、日本で受ける授業と全く違い、現地でしか学べない表現がたくさんあります。



カナダ留学体験記

2年F組 山本 凛音

今回、カナダで生活する中でリスニング力が上がりました。着いたばかりの頃は、会話の内容を半分ほどしか理解できませんでした。段々と単語が聞き取れるようになると過度に集中しなくても何の話をしているかがわかるようになり、現在は簡単な日常会話ができるようになりました。また、テキストなどで学んだ会話表現をすぐ使うことができるのでより早く実践的な使い方を身に付けることができました。外国人と話すたびに、表現が見つからないことのもどかしさや、他の留学生に比べ自分の英語力の低さに対する焦りなどを感じることも多くありましたが、諦めずに話しかけました。その結果、誰もが私の拙い英語に対して理解しようとしてくれるのがとても心強く、嬉しかったです。カナダの授業は自由度が高く、個々を尊重し、各々が興味を持つ分野のクラスを取ることができます。自分で色々なことを選択できるので、状況に合わせて何が自分に必要かをその都度判断していくうちに責任感や自主性が育きました。

キャリア・プログラム

Career Support Program

一人ひとりの進路実現のため、きめ細かなキャリア支援を行います。

模試や資格検定等の受験料の補助

大学進学や看護系大学、公務員、就職における模擬試験等の受験料や、資格検定の受験料を一部補助し、より積極的に模試や検定試験等に挑戦してもらいたいと考えています。

※本校で取得可能な資格（1級～3級）

- ◆英語検定 ◆漢字検定 ◆簿記実務検定
- ◆情報処理検定 ◆ビジネス文書実務検定 など



充実した講習内容

放課後等に行う講習は、「進学講習」や「公務員試験対策講習」など様々な進路に対応できるよう充実した内容となっています。1年次には、しっかりと基礎力をつけ、年次が上がるに従い、希望する進路に対応した講習を行います。

大学進学予備校との連携

選抜制の高い大学進学のため、大学進学予備校の映像講習、直接指導が受けられる対面講習（夏冬講座）、生徒及び保護者対象の進学説明会の実施等、ワンランク上の大学進学を実現するサポート体制を大学進学予備校と連携して進めています。

また、看護系進学や公務員就職を志望する生徒にはオンライン学習教材を活用し進路指導を充実させていきます。



ICTを活用した学習

学習用に各教室にWi-Fiが整備されていますので、生徒所有の端末で学習することができます。より効果的な学習のため、スタディサプリを活用し、授業だけでなく家庭学習でも自らのペースに合わせて学習することができます。

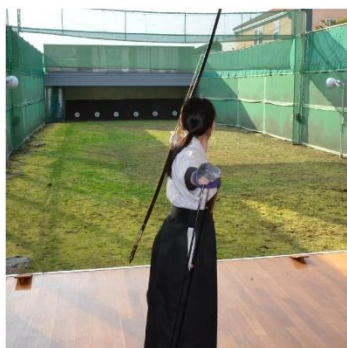


部活動

Extracurricular Activities



部活動は、心身をリフレッシュさせるだけでなく仲間とともに自主的・自発的に活動することによって学校生活を豊かにし、人間性や社会性を育成します。昨年度は、元オリンピック選手や元プロバスケットボール選手やプロの演奏家を招き、指導してもらいました。



部活動・同好会・外局 令和6年5月現在

野球 サッカー バスケットボール
ソフトボール ソフトテニス 卓球 陸上
美術 書道 家庭 科学 漫画研究 吹奏楽

バレーボール バドミントン
弓道 剣道 柔道 軽音楽
放送 図書 新聞 ボランティア

360°体感!



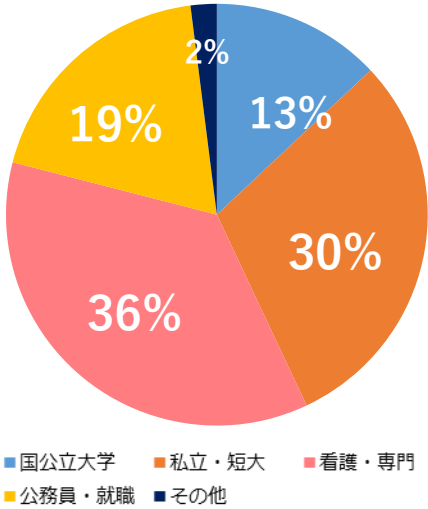
進路実績

主な進路合格先

国 公 立 大 学	室蘭工業大学
	小樽商科大学
	札幌市立大学
	釧路公立大学
	静岡大学
	旭川市立大学
	山口大学
	北海道教育大学

私 立 大 学	北海学園大学
	北星学園大学
	北海道医療大学
	北海道科学大学
	北海道文教大学
	日本医療大学
	札幌保健医療大学
	北翔大学
	札幌学院大学
	札幌大学

短 期 大 学 ・ 看 護 専 門 学 校	北海道武蔵女子短期大学
	北星学園大学短期大学部
	札幌国際大学短期大学部
	市立室蘭看護専門学院
	日鋼記念看護学校



専 門 学 校	大原法律公務員専門学校
	経専医療事務薬業専門学校
	札幌科学技術専門学校
	札幌看護医療専門学校
	日本工学院北海道専門学校
	北海道医薬専門学校
	北海道歯科衛生士専門学校
	北海道情報専門学校
	北海道福祉教育専門学校
	吉田学園公務員法科専門学校

公 務 員	伊達市役所
	長万部町役場
	北海道職員
	北海道警察
	自衛隊一般曹候補生
民 間 就 職	伊達信用金庫
	株式会社伊達観光物産公社
	トヨタ自動車株式会社
	北紘建設株式会社
	セコム株式会社

制 服

男女ともに、ブレザースタイルを採用。スクールカラーの紺藍をモチーフにデザインされ、襟部分には白のパイピングを施し、すっきりとした印象になっています。女子のスカートは、世界に唯一の「伊達開来チェック柄」を使用しています。また、スラックスを選択することもできます。

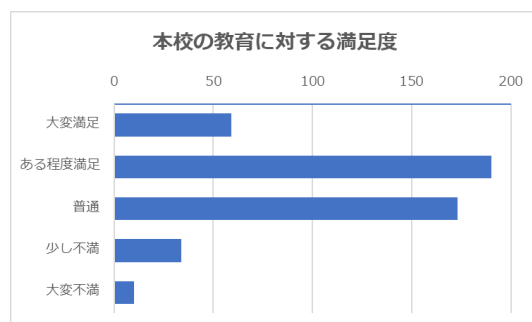
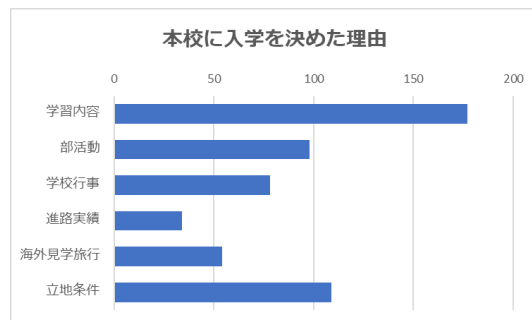
制服の素材は、適度なストレッチ性があり、授業中、机に向かう前傾姿勢などの際に身体の負担を軽減します。



伊達開来高校学校評価アンケート (保護者・生徒)

伊達開来高校に係るアンケート (生徒)

	評価項目	保護者	生徒
学習指導	1 教科シラバスの内容はわかりやすく作成されている。	2.9	3.3
	2 学力向上に向けた取組をしている	3.0	3.2
	3 「わかる授業」の指導方法を工夫している	2.9	3.1
	4 家庭学習の習慣化に向けた取組を行っている	2.7	2.7
	5 自らの考えを深める活動を行っている	2.9	3.3
生徒指導・教育相談	6 基本的生活習慣の指導がなされている	2.9	3.3
	7 生徒指導方針が十分理解されている	2.7	3.0
	8 いじめの未然防止に努めている	2.7	3.1
	9 共感的な人間関係を構築されている	2.9	3.1
	10 学校・保護者・地域の連携した生徒指導を行っている	2.7	3.0
	11 交通安全指導を行っている	2.9	3.2
	12 健康・安全・性に関する指導を行っている	2.8	3.3
進路指導	13 安心・安全を確保できる教育環境づくりに努めている	2.9	3.2
	14 充実したキャリア教育の充実を図っている	3.0	3.3
	15 科目選択・講習等の充実を図っている	3.0	3.4
特別活動	16 保護者と連携した進路指導を推進している	2.8	3.1
	17 学校行事や生徒会活動の活性化に努めている	3.0	3.3
	18 部活動と学習の両立が図られている	2.9	3.1
組織運営	19 学校行事や部活動に対して親身に関わっている	2.9	3.3
	20 積極的な情報提供に努めている	2.8	3.0
	21 地域関係機関と連携した環境づくりに努めている	2.6	3.1
	22 探究的な学習活動の充実に取り組んでいる	2.8	3.2



伊達市からの支援

「地域とともに歩む道立学校」として、本校は、地域に根ざした、充実した教育活動を展開するため、伊達市から次の内容について支援を受けています。

①魅力ある教育活動（グローバル人材の育成）への支援

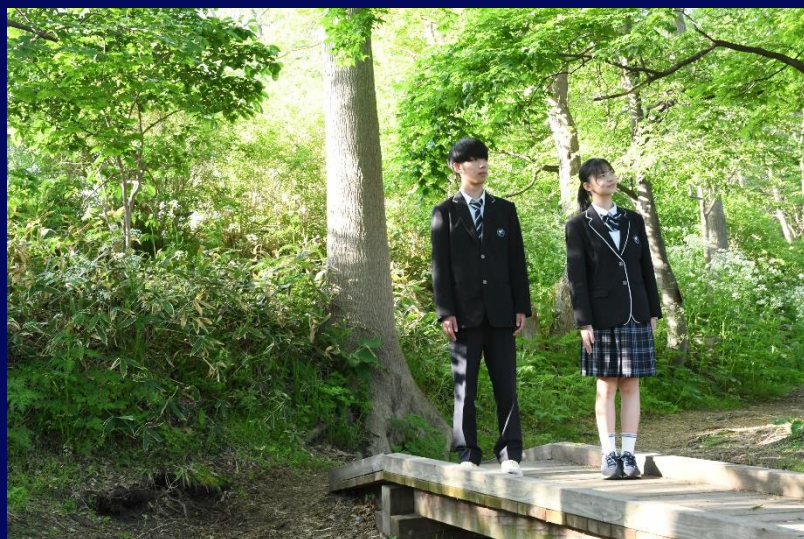
- 海外見学旅行の実施に係る費用助成（2年次生全員）
- カナダ留学の実施に係る費用助成（希望者選抜）
- ALT配置に係る費用助成

②学力向上に対する支援

- 進路実現に向けた大学進学予備校等による進学指導に係る費用やオンライン学習教材（スタディサプリ）等の活用などに対する費用助成
- 模擬試験や検定等の受験料に係る費用助成
- 奨励費（大学進学入学一時金）の支給（選抜）

③学校力等向上に対する支援

- スポーツ・文化活動等の活性化、競技力向上を目指す部活動への支援
- 「だて学」などの学校における探究的な学習活動に対する支援



アクセス

